

追悼記念週間によせて



パスト・ガバナー

宮田 宏章
(大阪北RC)

1947年1月27日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスの命日です。1989年10～11月のRIの理事会において、毎年この1月27日を含む1週間を、物故ロータリアンの冥福を祈り、生前の貢献を記念する週間として「追悼記念週間」と指定しました。

「ポール・ハリス本日逝去
全ガバナーと地域役員に
彼の死とともに、献花の代わりに
ロータリー財団ポール・ハリス記念基金に
寄付を行われたいという
ポールの具体的要請を御知らせする。
告別式は木曜日。フィル・ラブジョイ」



国際役員と地区役員に配達した簡潔な電報文を手に、世界中の実業家や専門職者が、忙しい職場で一時、動きを止めました。

ロータリー創設者の死亡の知らせで特徴的だったのは、生前の生き方と同様に、社会に良い影響を与えたいというポール・ハリスの願いでありました。1947年1月27日のことであります。78歳のポール・ハリスは、彼の愛したシカゴ南部のカムリー・バンクで安らかに息を引き取りました。

そして、マウントホープの共同墓地にある45年来の無二の親友で最初のロータリー・クラブの初代会長を務めたシルベスター・シールの墓の近くに、ポールは埋葬されました。

ニューイングランドの素朴な人間愛をもとにしてロータリーに生命を与えたポール・ハリス、その理念を基本原理として構築したアーサー・シェルドン、ロータリーに確固とした組織と運営の基礎を与えたチェスリー・ペリー、ロータリー財団という強力な財政の基盤をつくったアーチ・クランフなどなど、また100数年に亘ってロータリーの今日を築き上げてこられた多数の偉大な先輩ロータリアンを追悼してその実績を記念することは、極めて有意義であります。

各RCにおかれましても、物故された先輩会員には多くの個性豊かな立派な方がおられたことと推察します。これらの方々は各RCの宝であります。追悼記念週間にあたり、クラブの物故会員のご冥福を祈り、感謝し、記念することに努めていただきたいと存じます。